

M臨31-1

2025年度 大学院入学試験問題【1期】
文学研究科 臨床人間学専攻（現代社会学専修）博士前期課程

科目：論文・専門科目（辞書使用＝不可。ただし外国人留学生入学試験受験者のみ可）

次の〔Ⅰ〕と〔Ⅱ〕の問題に解答しなさい。解答用紙は〔Ⅰ〕に2枚、〔Ⅱ〕に1枚を使用し、問題番号を明記すること。

〔Ⅰ〕 次のA群の(1)～(5)は、社会学における特定のテーマに関するキーワード群である。またB群は、(1)～(5)とそれぞれ関係がある人物の名前である。(1)～(5)から2つを選び、それぞれにテーマを設定し、番号ごとのキーワードをすべて用いて論じなさい。その際、B群から特に関連のある人物を1人ずつ選び、論述に含めなさい。解答用紙は選んだ番号ごとに1枚(計2枚)を使用し、冒頭に番号を明記すること。

A

- (1) 社会的ジレンマ論、環境問題、共有地の悲劇
- (2) ジェンダー、ケア、感情労働
- (3) リキッド・モダニティ、コミュニティ、外国人
- (4) 新しい社会運動、階級闘争、集合的アイデンティティ
- (5) アウトサイダー、装飾者、法の適用

B

ブーリー・ラッセル・ホックシールド
ジグムント・バウマン

アラン・トゥレーヌ
ハワード・ソール・ベッカー

ギャレット・ハーディン

2026年度 大学院入学試験問題【Ⅰ期】
文学研究科 臨床人間学専攻（現代社会学専修）博士前期課程

科目：論文・専門科目（辞書使用＝不可。ただし外国人留学生入学試験受験者のみ可）

（Ⅱ） 次の文章を読み、下記（１）～（３）に答えなさい。それぞれの解答の冒頭に番号を明記すること。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

（熊池直樹、「『評価』を使って問題を解決する：環境活動の「見える化」ツール」、宮内泰介・三上直之編『複雑な問題をどう解決すればよいのか：臨床社会学の實踐』、新泉社、2024年、176-181頁を一部改変）

- （１） 6人の回答が分かれたように、一つの事実について人々が異なる認識をもつことをなんと呼ぶか、一語で書きなさい。
- （２） 6人の回答結果からどのようなことが言えるのか、ありうる解釈について述べなさい。
- （３） このワークショップでの質問は、量的調査における調査票（質問紙）の質問文とはどう異なるのか。また、調査票における質問文であればどのように尋ねることが望ましいのか、具体例を挙げて述べなさい。